

山本直樹 最新作品集

第三篇「五時」

第三話 「四日目～六日目」



本作は一部に性的に過激な描写が含まれています。
苦手な方や、18歳未満の方は閲覧をご遠慮ください。



本作は一部に性的に過激な描写が含まれています。
苦手な方や、18歳未満の方は閲覧をご遠慮ください。

山本直樹

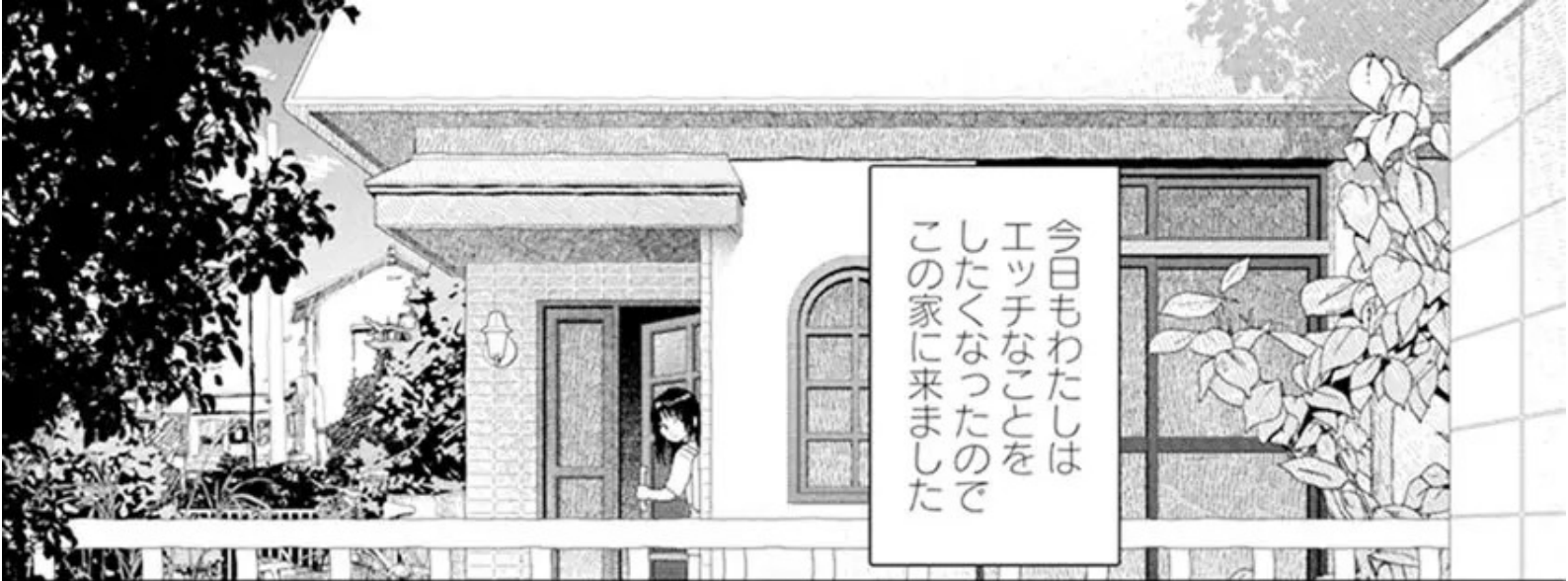
最新作品集

第三篇

九月時

第三話「四日目〜六日目」





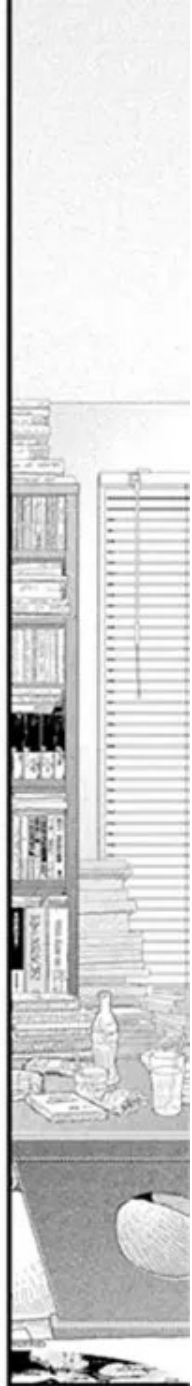
今日もわたしは
エッチなことを
したくなったので
この家に来ました

四日目



家に入ると
おっちゃんは
すでに裸で
ちんぽもギンギンに
ポッキしてて
なぜかちよっと
ウキウキした
気持ちになりました







そして今日も
おっちゃん
わたしのパンツを
脱がせます





この頃は本よりも
おっちゃんとする
エッチな遊びに
わたしは夢中にな
ってました



ブラインドの
向こうから
やつらの
駆けてゆく
足音と
歓声が
聞こえる





わたしのまんこは
すぐに又ル又ルに
なつて
クチャクチャと
エロい音をたてます



これが
わたしの味
わたしの臭い



ほらもう
こんな
なってるよ





それから
おっちゃんは
わたしのまんこを
なめはじめました



気持ちが良いので
わたしは
なめられるのが
とても好きに
なっていました

おっちゃんの舌が
わたしのまんこの中を
はいまわります

おっちゃんをつばで
わたしのまんこは
又ル又ルになります



そのうち
おっちゃんのはげではなく
わたしのまんごから出てくる
又ル又ルの方が多くなつて



わたしの
ふとももから
おなかのあたりまで
又ル又ルが
流れ落ちてくる

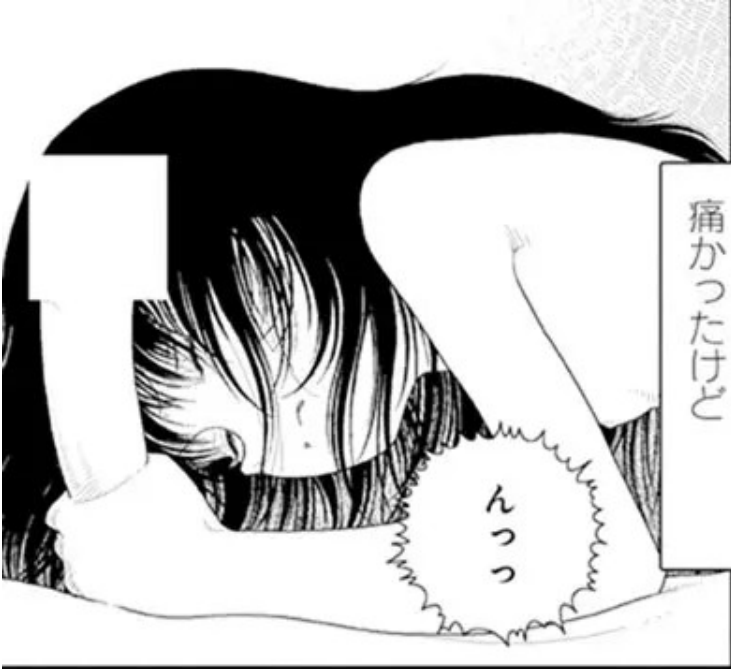


おっちゃんのお
指や舌の動きは
とても気持よくて
わたしはされるがままに
なっていました

今日も
おっちゃんはお
わたしの穴に
指をいれて
きました

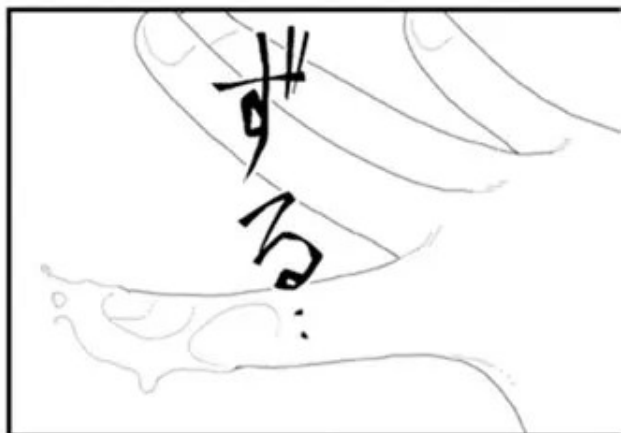
先っぼだけなら
なんとか
入るようにな
りました





おっちゃんは
わたしの穴の奥まで
指を入れようとして
時々ちよつと
痛かったけど

んっっ



ずる。



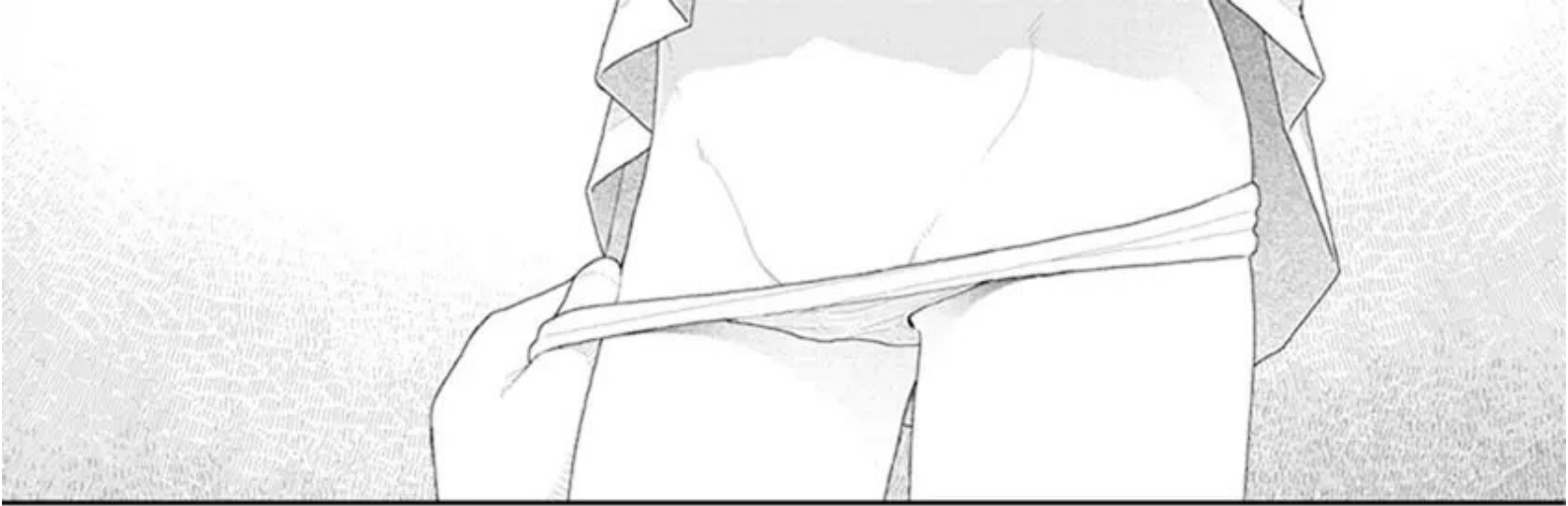
今日もおっぱいや
体じゅうをなめられて
気持よくなっていたので
されるがままでした





先っぽだけ入れたり
抜いたり また入れたり
というのを何回も
くりかえされて

そのうち
人さし指が
一本 奥まで
入るようにな
りました




五〇〇

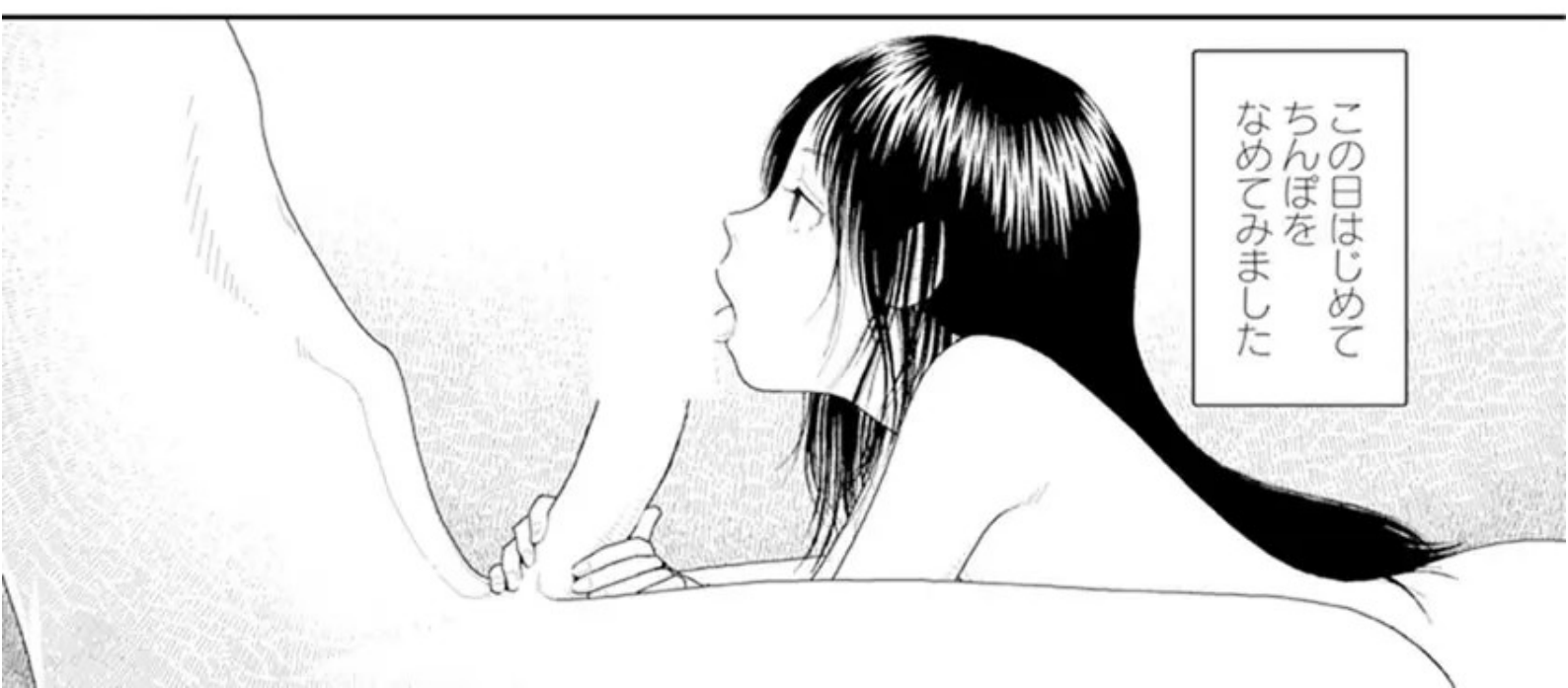


今日もおっちゃんは
わたしの穴に指を
入れました





今日も最初のうちは
圧迫感だけでしたが
そのうち指を膣の中の
奥まで入れられて
中でグチュグチュ
されるのが
少しずつ気持よく
なってきました



この日はじめて
ちんぽを
なめてみました



ちよつと
気持悪かった
けど
思いきつて
口に含んで
しゃぶつて
みました



ちよつと
おしっこ
みたいなの
生臭いな
みたいなの
変な味



「セックス」って
これをまんこに
入れるんですね

そうだよ


こんな
大きいの
入らない
ですよ



もう
ちよつと
慣れれば
大丈夫だよ




「セックス」をしたら
どういう気持ちに
なるんだろう？

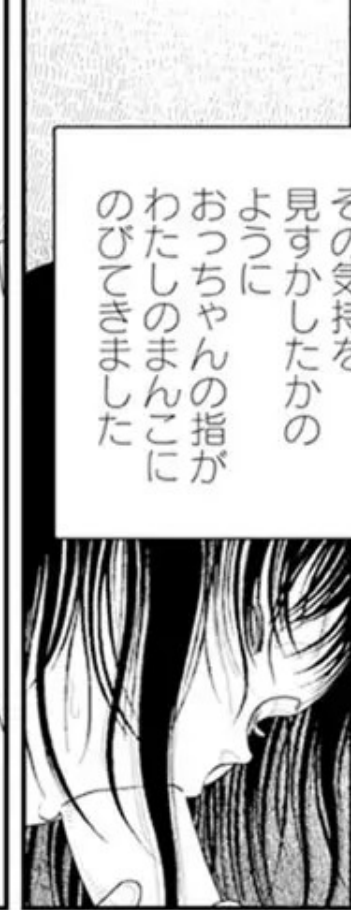


おっちゃんの
ちんぽを
しゃぶっていると
エロい臭いのせいで
頭の後ろの方が
ほろっとして
きました

「わたしはなんて
ヘンタイなことを
してるんだろう」
って考えると
だんだん
エロいような
せつないような
変な気持ちに
なってきました




わたしは
発情して
いました



その気持を
見すかしたかの
ように
おっちゃんの指が
わたしのまんこに
のびてきました




おっちゃんの指は
わたしの穴の
奥深くまで
入ってきて
穴の奥をやさしく
もみ続けました




おっちゃんは
わたしの口の中に
射精しました


わたしは
思いきって
精液を飲んで
みました



変な味が
しました



そのあとも
又ル又ルになった
わたしのまんこを
長い時間
いじられました



いつしよに
乳首をいじられると
股間がキュウつとなつて
たまらない気持ちに
なりました

まんこの穴に
太い指を奥まで
入れられても
もう痛くない



あっ

あっ

あっ

あっ

頭がぼうつとして
最後には意識が
一瞬飛んだみたい
になりました



これが
「いく」って
ことなんだ
ろうか？



六日目



今日はいよいよ
ちんぽをまんこに
入れてみることに
しました

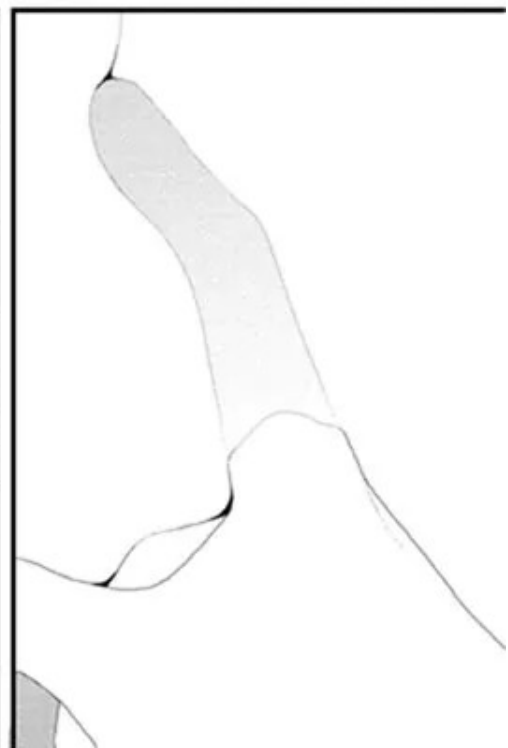
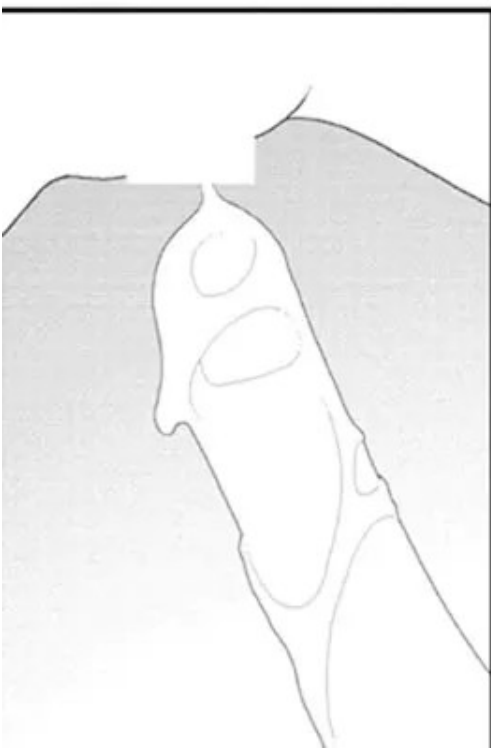
いいの？

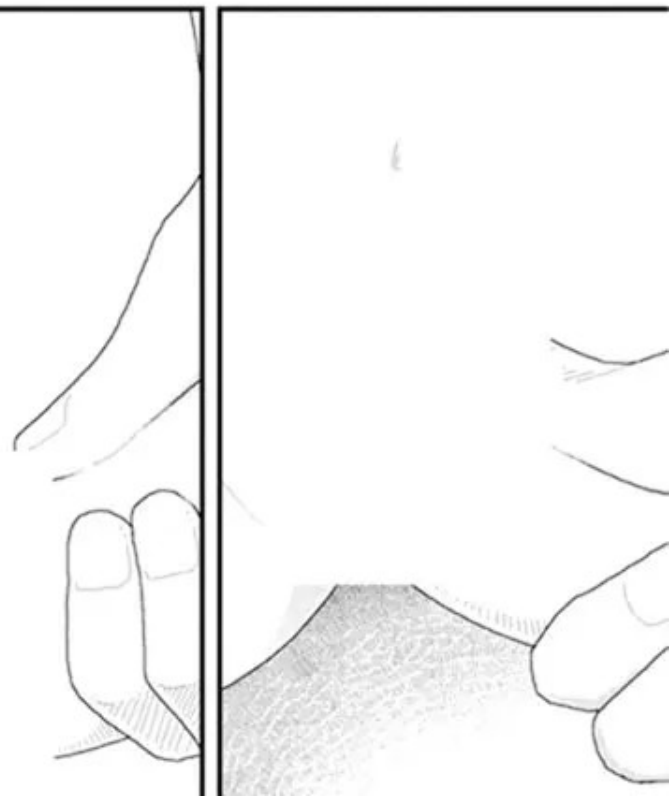
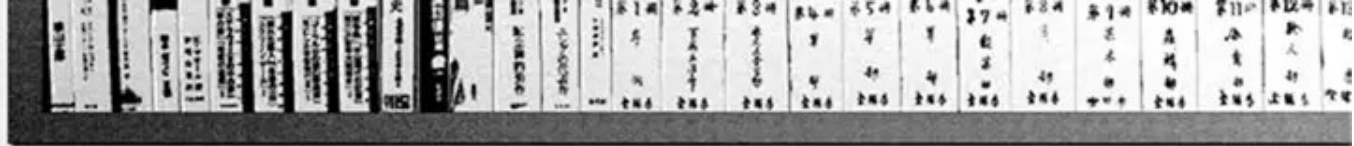
うん


ちよつとこわかったけど
恐怖心より好奇心の方が
勝ってしまった



おっちゃんは
わたしの膣に指を入れて
ゆっくり掘っていくように
穴の入り口と中を
長い時間もみほぐしました







おっちゃんは
わたしのまんこに
ちんぽを押し当て
たっぷりと
時間をかけて
又ル又ルと
動かし続けました

しゅわっ
しゅわっ

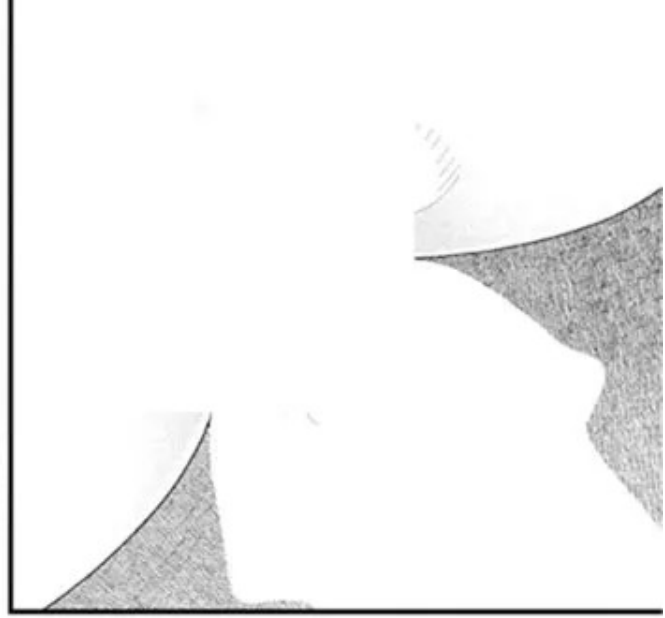


んんん...



こうしてヌルヌル
動かしてるだけで
爆発しそうなほど
気持ちいいよ







奥まで
はいったね

中が
キツキツだ
ギユウギユウ
締めつけて
きやがる

圧迫感はあるけど
指で慣らされていた
せいかな ギリギリ
がまんできる
ぐらいでした



ね ゆっくり

うん

そう言っておっちゃんは腰を動かしました



ちゅー



ずる





痛さよりも「ついにセックスしちゃった」という達成感というか充実感というか



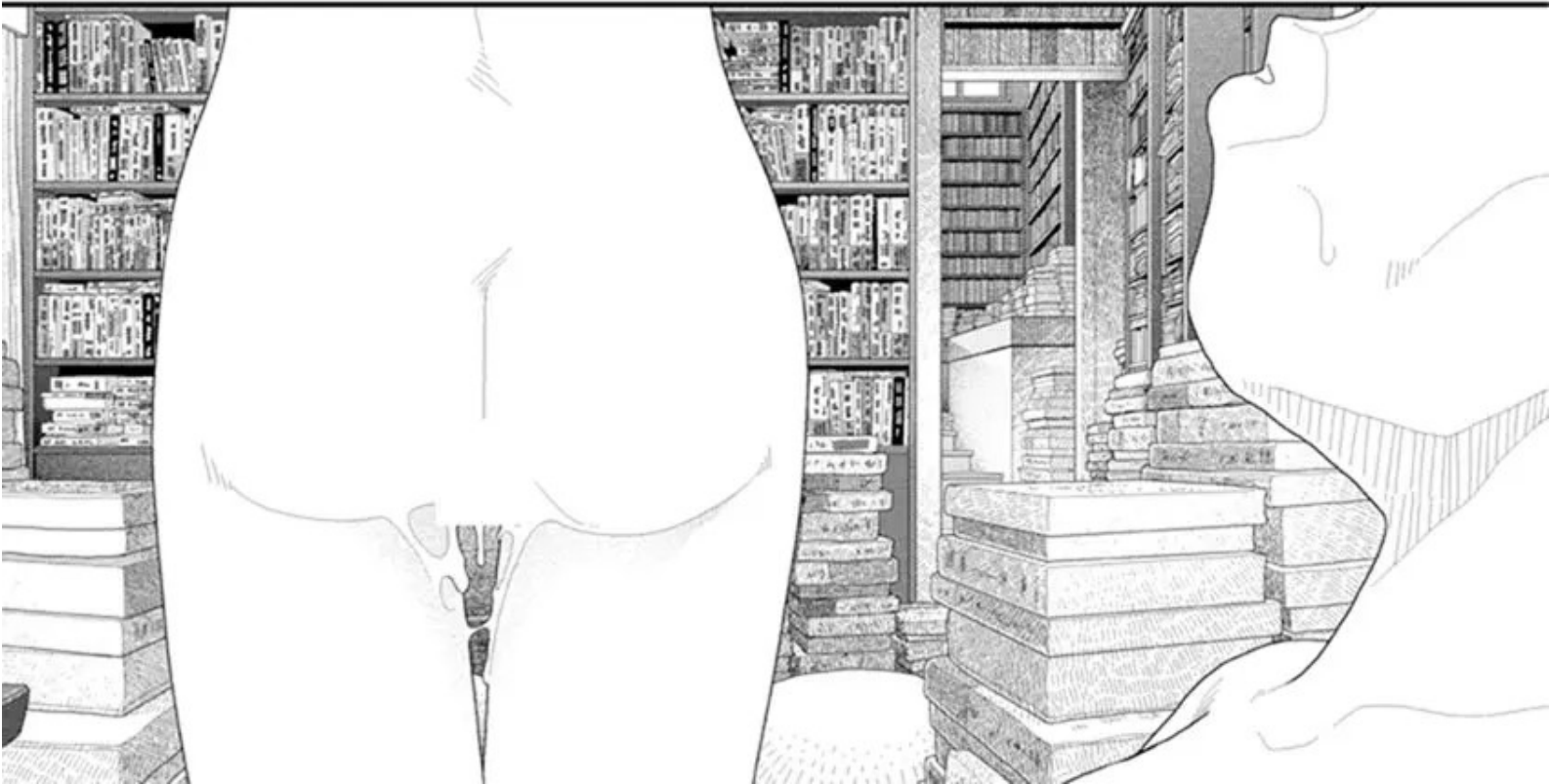
おっちゃんの
気持よさそうな
顔を見ると
わたしも
うれしいような
気分になりました




おっちゃんは
5時20分前に
射精しました

おっちゃんの
ちんぽは
何度も脈打って
わたしの
未経験のまんこに
ドクンドクンと
大量の精液を
はきだしました








シャワーを借りて
体とまんこを
洗いました

洗ってる最中も
まんこから精液が
流れ出てきました



おっちゃんは
「金玉の手術したから
射精しても精液に
精子は入ってない」と
言っていました

本当かどうかは
わかりません





第三話おわり 第四話につづく



マンガ・エロティクス・エフ公式サイト
<https://erotics-f.com>

山本直樹作品集 [単話版]

第三篇「五時」第三話「四日目～六日目」

発行：2026年3月11日

著者：山本直樹

発行人：森山裕之

発行所：株式会社太田出版

〒160-8571 東京都新宿区愛住町22第3山田ビル4F

TEL 03-3359-6262

HP <https://www.ohtabooks.com>

©Naoki Yamamoto 2026

※この作品は、『OhtaWebComic』にて販売されたものと同内容です。

この作品の全部、あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信すること、内容を無断で改変・改竄することを禁止します。また、有償・無償にかかわらず、第三者に譲渡することはできません。